

# イラクから自衛隊は撤退を

自衛隊のイラク派兵基本計画は12月14日、期限が切れます。しかし、政府はアメリカにいわれるままに、派兵計画をさらに1年間延長する方針です。なんの大義もない、アメリカのための派兵は、キッパリとやめるべきです。

## ★イラクはなぜ泥沼化するのか

イラクでは、米軍の無差別の掃討作戦など暴力とテロの悪循環がくりかえされ、泥沼化しています。多くのイラク市民が犠牲になり、米軍兵士の死者も2200人にもなります。そもそもイラク攻撃は、根拠のない無法な戦争でした。乱暴な軍事占領がうまくいくはずがありません。かえってテロの温床になっています。

## ★イラクの主権回復と国連中心の復興支援を

いま大切なことは、戦争と占領というイラク政策を転換し、軍事占領でなく、イラク国民の主権を回復し、国連中心の復興支援へと歩みだすことです。「占領軍は撤退して欲しい」—これがイラク国民の声です。38カ国いた多国籍軍も過半数が撤退(計画)をはじめています。このとき、なぜ憲法9条を持つ日本から自衛隊がいつまでもイラクに居座らなければならないのでしょうか。

### 米軍基地再編・強化反対

#### 自治体ぐるみで反対しています

■日米両政府は、米軍再編「中間報告」で合意した米軍基地の新強化計画を沖縄、岩国、座間など全国各地で押しつけています。日本をアメリカの戦争出撃基地として強化するためです。

■「戦車に轢かれても反対」(相模原市長)。基地被害に苦しむ自治体は首長、議会、住民ぐるみで、保革の違いも越えて、強い反対の声をあげています。



## 憲法改悪反対 9条を守ろう！

米軍基地の新強化計画を押しつけるな